

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者） コンビニ（経営者） コンビニ（経営者） 美容室（経営者） 設計事務所（所長）	来客数の動き 販売量の動き 競争相手の様子 それ以外 販売量の動き	・ 6月は、登山用品、水泳用品の動きが良く、全体ではやや良くなっている。 ・ 7月からたばこの税金が上昇することを受け、駆け込み需要で来客数が増加している。 ・ 6月上旬に強力な競合店がオープンし、1～2割の売上低下を覚悟していたが、対策が功を奏し、3か月前より2、3%上向いている。対前年比でも売上が104.5%、来客数が106.5%となっている。 ・ 6月に入り、美容院の設備投資への融資案件が5、6件出てきているので、少しずつ良くなっている。 ・ 5月末に社会福祉法人の仕事の関係で、自治体からの補助金支給の内示が出たので、6月は本格稼働している。
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・ 25年間学校内でキャンプ用品を販売しているが、量販店が取り扱っている品は売れなくなっており、前年と比べても販売量が半減である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	競争相手の様子	・ メーカーとの会議において、客全体の地域家電店に占める割合は3割を切ったという報告があり、厳しい状況は変わらない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ 来客数は、前年をクリアしているが、客は必要な品以外は購入せず、買上の点からは厳しい状況が続いている。
		スーパー（統括）	単価の動き	・ レジ通過客数は多少鈍化し、既存店ベース104～106%で推移している。客単価は98～101%、買上点数は107%、売上高は堅調に推移しているものの、5月に下げ止まった点単価は更に97～98%と下向きになっている。初夏物衣料の動きが鈍く、苦戦している。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・ この数か月の来客数は前年並みを確保しているが、買上単価が低下している。全体で見ると、売上は前年の95%程度となっている。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・ 客は特に必要ない物は購入しない。目新しい、珍しい商品があれば、触手を動かそうという様子に変化はない。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・ 7月1日からのたばこの増税に伴い、売上が上昇している。たばこを除くと売上は苦戦しているため、変わらない。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・ ボーナス商戦の立ち上がり時期であるが、その気配がない。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・ 客の動きが少なく、1万円でも5千円でも、とにかく安い販売店から買うような状況で、厳しい。
		高級レストラン（店長）	来客数の動き	・ ランチタイムの客席の回転率が1回転しかせず、なかなか客数が伸びない。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ 宿泊数は予約の2.5～3倍となるのが通常であるが、3か月前から現在においても、倍に届くかどうかという状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ 宿泊は前年の1割減、宴会は2割減となっており、低迷が続いている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・ SARSの問題も下火になってきている。
		旅行代理店（営業・管理担当）	販売量の動き	・ SARSの影響がまだ残っており、6月はまだ復活していない。
		観光名所（職員）	お客様の様子	・ 旅館、ホテル、レストラン関係の売上は、全般的に例年を下回っている。一部、安いランチや味の良いレストランは活況を呈している。
		遊園地（職員）	単価の動き	・ 食堂、イベントの減収傾向が続いている。利用単価が前年比で300円以上下落している。
		ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・ 来場者数はダイレクトメール発送や、各種イベントなどの営業の結果、増加したが、何かをしないと客の確保は難しい状況である。客単価は依然として伸びていない。
競輪場（職員）	お客様の様子	・ 来場者数、購買単価とも減少、低下傾向にある。		

	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・地価のデフレが進行しており、売る方がちゅうちょしている。仕入れができないと次に進まないのが、現状打破できない。	
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・不動産が動かない状況は変わらず、土地を買って造成したのでは割が合わないのが、分譲住宅から撤退する予定である。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・中心街の大きな空き店舗に食品中心のスーパーが開店したが、にぎわいはわずか1週間程度で終わり、元の状態に戻ってしまっている。	
	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・7月のクリアランス前であるが、例年と異なり、来客数が非常に少なく、客は買い控えをしており、厳しい。	
	百貨店(店長) コンビニ(経営者)	販売量の動き お客様の様子	・6月の売上は対前年比96%と苦戦している。 ・客は必要な品だけを購入しており、店にいる時間も非常に短い。	
	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・不動産賃貸、ホテルなどの中小企業の客がほとんどである。5~6月の中古車販売量は非常に良くなっているが、客の倒産、夜逃げが何件もあり、周囲の景気はやや悪い。	
	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・周りの不景気、倒産などによる買控えにより、以前と比べて販売量が減少している。	
	住関連専門店 (店長)	来客数の動き	・買上点数の伸びも、止まってきている。以前と比べて、まとめ買いの頻度も減っている。	
	スナック(経営者)	お客様の様子	・飲酒運転の罰則強化により、来客数が減少している。	
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・不景気のせいか、客が料金にシビアになってきている。特に名刹のご開帳が終わってから、宿泊、宴会の金額に関する問い合わせの増加が目立つようになってきている。	
	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・SARS問題が一段落してきたが、客の不安は変わらず、3か月前と比べても旅行を控える傾向は多々みられる。海外旅行もない。	
		タクシー運転手	それ以外	・梅雨時で傘代わりの利用が多く、1km前後で300~400円程度の客が目立つ。5,000円以上の長距離客は、週に1度いるかいないかである。
	通信会社(社員)	販売量の動き	・6月に携帯電話の新機種が発売されたが、新規契約数、純増数ともあまり伸びていない。	
	設計事務所(所長)	競争相手の様子	・周囲の事務所からは仕事が確保できないという声が聞かれ、明日は我が身という状況である。	
悪くなっている	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・中元ギフトの早期注文客数、夏物の買上点数が減少しており、消費は冷え込んでいる。	
	スーパー(経営者)	販売量の動き	・6月の売上は対前年比で95%、3か月前と比べても4%減少と非常に悪い。来客数も2.3%減少しており、厳しい。	
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型車が発売になって1か月が経過したが、販売は微増にとどまり、全体の売上は一向に増えない。	
	タクシー運転手	それ以外	・会社全体の売上の落ち込みから、夏のボーナスが冬の45%程度しか支給されないことになった。歩合も4%カットとなり、厳しい。	
企業動向関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・新モデル車の販売が好調であり、6月の売上は前年比で15%増加している。
	やや良くなっている	精密機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・自動車関連で比較的活気が出てきている。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・7月からのたばこ値上げのため、販売店の抱え込みが多く、一時的に輸送量が増加している。
	変わらない	化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量に大きな変化はなく、下落したままの状態に推移している。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	取引先の様子	・特注品に加え、店頭商品の受注が多少増加してきている。
	金属製品製造業(経営者)	それ以外	・排ガス規制の関係で、50~70%増の生産状況が1月から続いており、組み付けるトラックの生産が追いつかない状態である。業界全般では、生産量、受注量とも低いなりに安定し、自動車以外の工作機械、産業機械、建設機械などが平均10%増程度になってきている。	

	一般機械器具製造業（生産管理担当）	取引先の様子	・排ガス規制の関係で、トラック関連の部品を手がける会社はフル操業で、仕事が多くて困っている状態である。建設機械関連でも、中国向けの動きが近年になく上向き、自動車関連の好調とあわせて、悪い話を聞かない。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先の旅行代理店では、SARSやイラク戦争等で海外旅行を控えていた客の国内へのシフトが、予想ほど増加していないという話である。一方、家電量販店では、DVD関連でハードディスクレコーダー等の売行きが良いとのことなので、総じて変わらない。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・6月の折込チラシ出稿料は前年比で96.5%となっている。名刺ご開帳の4、5月はそれぞれ102、100%と回復したが、結局一時的なもので、宣伝費の出費に対する厳しい状況は変わっていない。取引先の大手衣料品スーパーでは、月末から夏物半額バーゲンを大々的に開催しており、売上が3割増加し、好調である。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・6月に取引先2社が自主廃業となっている。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	取引先の様子	・大手販売会社が企画した企画商品の売行きは好調であるが、路面店を対象とする卸企業は不振であり、企業間格差はより一層拡大している。	
	経営コンサルタント	それ以外	・現状維持の困難、対前年比での悪化など、業績不振を訴える企業経営者がほとんどである。新しい案件、新規事業での手応えをあげても、実際のビジネスに結びついているものは極めてまれである。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・商業、流通業界からのスポットコマースの落ち込みが厳しい。大型量販店、商店街からのイベント受注も大幅に落ち込んでいる。	
悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・親企業が中国に拠点を移すために、仕事が徐々に減少してきている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・在庫調整のためか、相当生産を絞られており、6月は15時までの営業となっている。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・民間土木工事で見積りより更に厳しい金額を要求され、やむを得ず断っている。	
	不動産業（経営者）	競争相手の様子	・マンションの管理に関して、金額を抑えたいという管理業者が増加している。	
雇用関連	良く なっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・業種による差はあるが、前年同期と比べて、求人は増加傾向にある。しかし、派遣料金は低下が続いている。5年前には考えられなかった働き盛りの40～50代の男性の派遣登録が目立って増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同時期と比べて、新規、有効とも求人数は増加、求職者数は減少している。来所する求人企業数は落ち着いてきており、派遣や請負が目立つ状況となっている。
変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・近隣に開店したアウトレットモールの雇用の動きが一段落し、ゴールデンウィーク明けから6月まではやや鈍くなっている。10月に大規模なショッピングモールのオープンが決まり、合同面接の話がきているので、総じて変わらない。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	雇用形態の様子	・短期間で辞めてしまう中途採用者が多く、経営者は困っている。繁忙期に派遣で対応できる職種は、社員での募集は少ない。サービス業の求人は多いが、ほとんどがパート、アルバイトである。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数が7か月ぶりに対前年同月比4.5%減少している。有効求人倍率も0.42倍と、引き続き低い倍率になっている。	
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・新卒は組織のバランスから例年通り採用しても、中途は弱含みであり、新規求人は全く活発化していない。	
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・今春の卒業生に対して、事務職を中心とした求人問い合わせが数件来ている。あまり変化はない。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・取引先の業況が苦しく、宿泊施設から立て続けに2件の契約解除の動きが出ている。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・雇用が不安定な派遣、アウトソーシングの求人は目立つが、その他は低調な動きである。
悪くなっている	-	-	-